

取扱説明書

ELECTRIC KETTLE

電気ケトル

おひとりさまケトル

品番

AKE-377



- この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ごさいます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 取扱説明書及び保証書は大切に保管し、いつでも見られる
ようにしてください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意	1-2
各部のなまえ	3
ご使用方法	4-6
お手入れ	7-8
故障かな?と思ったら	
製品仕様	9
アフターサービス	10
保証書	裏表紙

保証書付

この取扱説明書（裏表紙）には保証書が
ついています。必ず捺印をお受けください。

この製品は日本国内でのみご使用になれます。

This appliance is designed for domestic use in Japan only
and can not be used in any other country.

安全上のご注意

必ずお守りください!

ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすることにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

本製品は湯沸かしを目的として一般家庭用に設計された製品です。これ以外の用途では使用しないでください。

警告

- 本製品は修理、分解、改造を絶対にしないでください。
発火したり、異常動作で感電したり、けがをする恐れがあります。
- 水平でない場所や不安定な場所、振動のある場所や棚の上、水で濡れている場所で使用しないでください。
本体が落下・転倒して故障・事故の原因になります。
- 小さなお子様や身体の不自由な方など補助を必要とする方だけの使用や、幼児の手の届くところでの使用はしないでください。また、お子様が本製品で遊ばないように必ず保護者の方が注意するようにしてください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。
- 浴室や屋外など、高温多湿で水のかかる場所では使用しないでください。
製品内部に水が入り、漏電して感電・ショートする恐れがあります。
- 注水は電源ベースから本体を外しておこない、お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・ショートする恐れがあります。
- 本体の底部や電源ベース、通電部を水で濡らさないでください。
感電・ショートする恐れがあります。
- 付属の電源ベースやふた以外を使わないでください。また、付属の電源ベースを他の機器に使わないでください。
火災・事故・故障の原因になります。
- 本体を直火・電磁調理プレート(IH)・電気ヒーターの上に置いたり、電子レンジに入れないでください。
故障・事故・火災の原因になります。
- 動作に異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。
感電・ショートする恐れがあります。電源プラグを抜き、弊社アフターサービスにご連絡ください。▶10ページ参照
- 電源コードが破損した場合、ご自身で修理しないで必ず弊社アフターサービスへ修理を依頼してください。
発火や感電・けがをする恐れがあります。
- 電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。
感電や火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグにさわらないでください。
感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり重いものを載せたり、たばねたりしないでください。
傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
感電や火災の原因になります。他の器具と併用すると、分岐コンセント部分が異常発熱して発火することがあります。
- 海外では使用しないでください。
日本国内のAC100V電源以外で使用すると、感電や火災の原因になります。
- お手入れするときや、長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、濡れた手で抜き差ししないでください。
感電・ショート・けがの原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

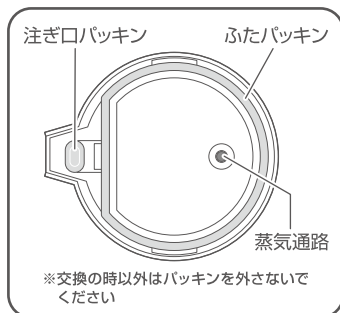
必ずお守りください!

⚠ 注意

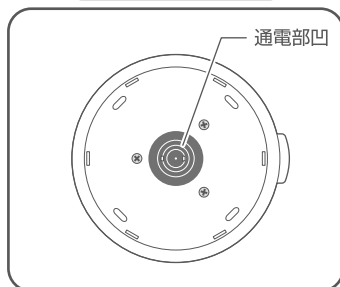
- 水を入れないまま本体を加熱しないでください。
故障・変形の原因になります。
- 必ず300ml以上水を入れてご使用ください。
自動停止機能が正常に作動せず、故障・事故の原因になります。
- 水以外のもの(牛乳・お酒・ジュースなど)を入れないでください。
故障の原因になります。
- お湯を沸かす以外の使い方をしないでください。
故障・事故の原因になります。
- 布類・紙類やプラスチックなど熱に弱いものの近くで使用したり上に置いたりしないでください。
シミ・変形・火災の原因になります。
- 業務用として使用しないでください。
本製品は一般家庭用です。
- たたいたり、落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
故障・けがの原因になります。
- 本体を屋外で使用したり、冷蔵庫や冷凍庫に入れないでください。
故障の原因になります。
- [MAX]目盛以上の水を入れないでください。
お湯の吹きこぼれや、排出口から排水されたお湯によるやけど、故障・事故の原因になります。
- ふたをしないままお湯を沸かさしないでください。
お湯が吹きこぼれて、やけどをする恐れや、自動停止機能が正常に作動せず、故障・事故の原因になります。
- 加熱中に注ぎ口や通気口をふさがしないでください。
お湯が吹きこぼれて、やけどをする恐れや、故障・事故の原因になります。
- 加熱中や加熱後にベースと一緒に本体を移動させしないでください。
転倒してお湯がこぼれて、やけどをする恐れや、故障・事故の原因になります。
- 蒸気が出ている通気口に手や顔を近づけないでください。
やけどをする恐れがあります。
- 加熱中や加熱直後は高温部(ハンドル以外)には触れないでください。
やけどをする恐れがあります。
- ふたを付せずに本体を移動しないでください。
お湯がこぼれ、やけど・けがをする恐れがあります。
- お手入れは本体が冷めてからおこなってください。
使用直後の本体やふたに触れるとやけどをする恐れがあります。
- 連続で使用するときは本体やふたが熱くなっていますのでやけどに注意して使用してください。
やけどをする恐れがあります。
- 食器洗い機、食器乾燥機を使用して洗浄・乾燥をしないでください。
故障・変形の原因になります。
- 本体に水(お湯)を入れたまま、放置しないでください。
雑菌の繁殖や腐敗、臭い、変色の原因になります。
- 長期間使用しない場合は各部を清掃し、十分乾かしてから保管してください。
雑菌の繁殖や腐敗、臭い、変色の原因になります。
- 漂白剤・塩素系洗剤などを使用して洗浄しないでください。
変色する恐れがあります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。
電源プラグのホコリなどは定期的に取り除いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 本製品は外付けタイマー類による使用、及びIoTなどによる遠隔操作を想定して作られていません。
誤作動・故障・事故の原因になります。

各部のなまえ

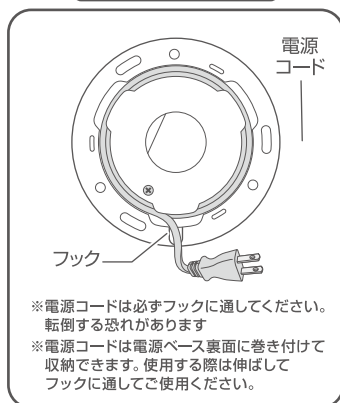
ふた裏面



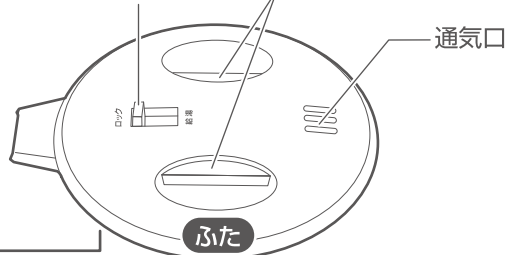
本体底面



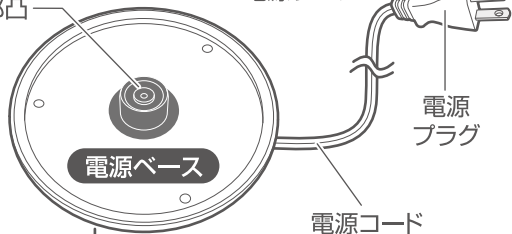
電源ベース底面



給湯ロックスイッチ



通電部凸



本製品に保温機能はついておりません。
あらかじめご了承ください。

※イラストと実際の商品は、若干異なる場合があります。

ご使用方法

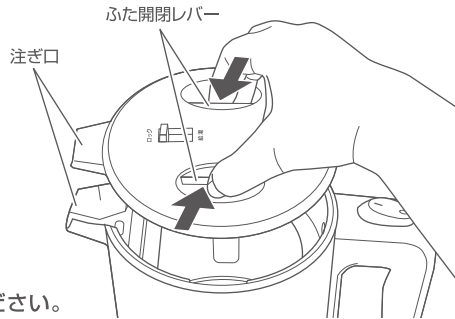
ふたの外し方・付け方

外し方

- ①ふた開閉レバーを摘んでください。
- ②そのまま引き上げ、ふたを外してください。

付け方

- ①ふた開閉レバーを摘んでください。
- ②本体とふたの注ぎ口の位置が合うようにしっかり被せ、ふた開閉レバーを離してください。



⚠ 注意

- 本体が倒れないように注意してください。
- ふたを外す時や付ける時は、本体を電源プレートから外した状態でおこなってください。

ご使用前に

本体の内側は水かぬるま湯でよくすすぎ、本体外側とふたは固く絞った布でよく拭いてください。一度水を[MAX]目盛まで入れ、お湯を沸かし、注ぎ口から全てのお湯を捨ててください。

⚠ 注意

- 使いはじめのうちは樹脂などの臭いがすることがありますが、故障ではありません。数回使用すると臭いはなくなります。
- 臭いが気になるようであれば、お湯を沸かし注ぎ口から捨てる動作を2~3回程度繰り返してください。

1. 本体に水を入れる

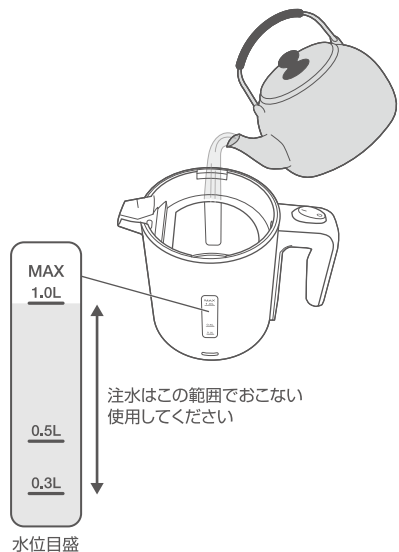
本体に水を入れてください。(最大[MAX]目盛まで)

⚠ 注意

- 水以外のもの(牛乳・お酒・ジュースなど)を入れてしないでください。
- 本体を電源ベースにセットしたまま水を入れてしないでください。
- 本体底面に水がかからないように注意してください。

●[MAX]目盛を超えた量の水を入れて使用すると故障やお湯が吹きこぼれてやけどをする恐れがあります。水位は必ず[MAX]目盛以下で使用し、本体を移動するときは水平を保った状態で製品を移動してください。

●水が少なすぎると(約300ml以下)自動停止機能が正常に作動せず、故障・事故の原因になります。

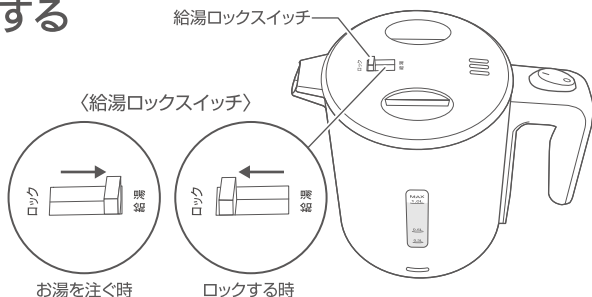


ご使用方法(つづき)

2. ふたをしてロックをする

ふたを正しく閉め(4ページ参照)
給湯ロックスイッチを「ロック」の
位置にセットしてください。

※スイッチの設計上、ロックの位置にセットしても
多少のアソビがあり給湯の方向へ動くことも
ありますが、図のように一旦ロックの位置まで
動かせばロックされています。



⚠ 注意

- ふたをしななままお湯を沸かさなてください。
自動停止機能が正常に作動せず、故障・事故の原因になります。
- ふたが正しくセットされ、給湯ロックスイッチがロックの位置にセットされていないと
本体が転倒したときや、お湯を注ぐ際にふたが外れお湯がこぼれて、やけど・けがをする恐れがあります。

3. 本体を電源ベースにセットする

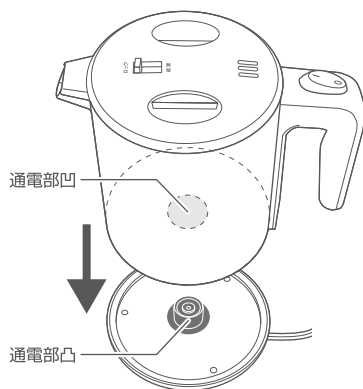
本体底面の通電部凹を電源ベースの通電部凸の位置に
合わせて、本体と電源ベースにすき間がないよう
しっかりセットしてください。

⚠ 警告

- 通電部には絶対に水をかけなてください。
感電・ショートする恐れがあります。

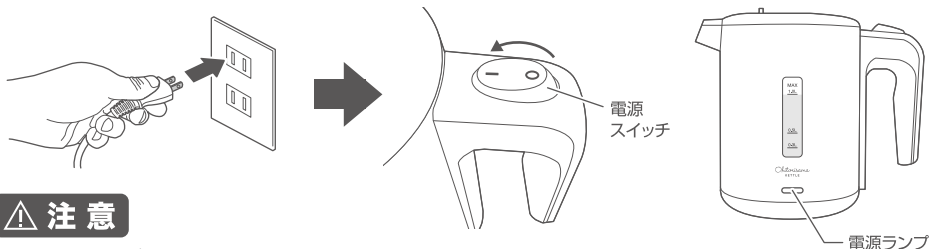
⚠ 注意

- 不安定な場所で使用しないでください。
- 他製品の電源ベースやふたを使用しないでください。
- 指を挟まないように注意してください。



4. 電源を入れる

電源プラグをコンセントに差し込み、ハンドル天面の電源スイッチを「I」マークの方へ押し
電源を入れます。電源が入ると、電源ランプが赤色に点灯します。



⚠ 注意

- 濡れた手で電源プラグや本体に触らなてください。
- 布類・紙類やプラスチックなど熱に弱いもの近くで使用しないでください。

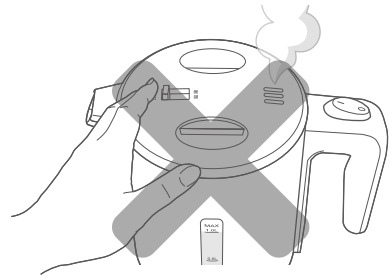
ご使用方法(つづき)

5. お湯を沸かす

お湯が沸騰すると、「カチッ」という音とともに自動的に電源スイッチがOFFになり電源ランプが消灯します。

⚠ 注意

- 蒸気が出ている通気口に手や顔を近づけないでください。
- 電源ベースから本体をはずす際は、必ずハンドルを持ってください。
- 沸騰直後に本体のふたを開けないでください。やけどの恐れがあります。
- 本製品に保温機能はついておりません。予めご了承ください。



🚫 高温注意

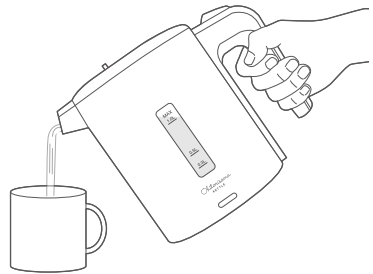
加熱中および加熱直後の本体は非常に高温になります。やけどをする恐れがありますので絶対に触らないでください。

6. ロックを解除してお湯を注ぐ

ハンドルを持って電源ベースから本体を取り外し給湯ロックスイッチを「給湯」にセットしてお湯を注ぎます。注ぎ終わったら、本体を水平に戻し給湯ロックスイッチを「ロック」にセットしてください。

⚠ 注意

- 本体を傾けすぎないようにしてください。
- ハンドルと給湯ロックスイッチ以外は非常に高温になりますので絶対に触らないでください。

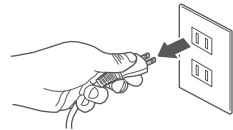


7. 使用後

使用後は残ったお湯を捨て、電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからお手入れしてください。

⚠ 注意

- 濡れた手で電源プラグや本体に触らないでください。
- お手入れは、必ず電源プラグを抜き本体が十分に冷めてからおこなってください。
- お手入れの際に本体底面や電源ベースに水をかけないでください。

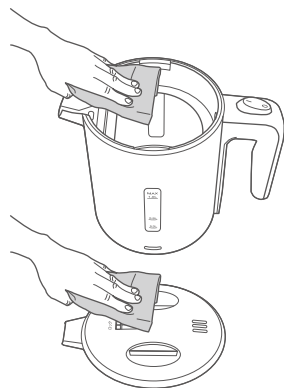


使用直後の本体は非常に高温になりますので、ご注意ください。

お手入れ

1. 本体、ふたのお手入れ

本体内側は水かぬるま湯を入れ、柔らかいスポンジなどで汚れを落としてからすすいでください。
本体外側とふたは固く絞った布でよく拭いてください。



⚠ 注意

- 本体内側の縁を強く持ったり指をすべらせたりするとけがをする恐れがあります。
- 本体外側、底面を水で濡らさないでください。
- 本体内部の汚れ(白い浮遊物、虹色等の変色、白いはん点、赤さび状のはん点など)は本来水に含まれるミネラル成分の作用によるものです。衛生上問題はありませんので安心してご使用ください。
- 汚れが目立ってきたら定期的にお手入れをおこなってください。

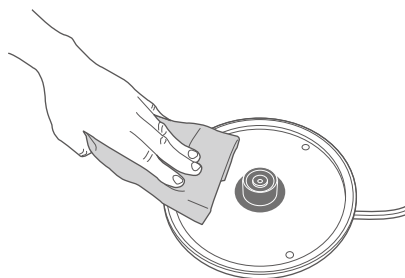
お手入れは本体が十分に冷めてからおこなってください。

2. 電源ベースのお手入れ

固く絞った布でよく拭いてください。
定期的に電源プラグにほこりなどがついていないか電源コードにねじれがないかを確認してください。

⚠ 注意

- 電源ベース、電源プラグを水で濡らさないでください。



3. クエン酸洗浄

1～3ヶ月に1度、市販のクエン酸での本体内部洗浄をお勧めします。

- ① 水を[MAX]目盛まで入れ、その中にクエン酸を約15g入れかき混ぜます。
- ② ふたをして沸騰させ、約1時間放置します。
- ③ 本体からお湯を捨て、本体内部をよく水ですすいだから水を切り、乾燥させます。



※クエン酸の臭いが残る場合は水のみでもう一度お湯を沸かしてください。

長期間使用しない場合は、各部を清掃し、よく乾かしてから保管してください。

お手入れ（つづき）

4. パッキンの交換

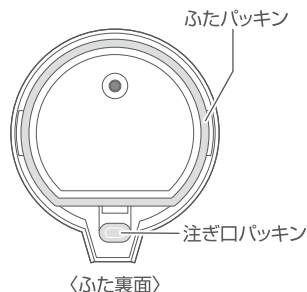
ふた裏面に2箇所付いているパッキンは消耗品です。白く変色してきたり、汚れや破損がひどくなってきたら交換してください。

※変色していないパッキンは乳白色の半透明です。

放置して使い続けるとふたと本体の隙間や注ぎ口からお湯が流れ出たり蒸気が漏れたりする場合があります。

また、誤って倒した時に給湯ロックスイッチをロックさせた状態でもお湯が漏れ出す場合があります。

1年を目安にパッキンの状態を確認してください。



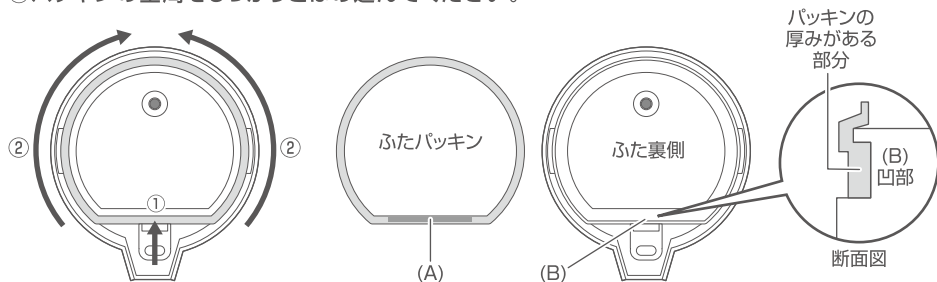
【ふたパッキン】

外し方

ふたをしっかりと押さえ、ふたパッキンをめくり、外してください。

付け方

- ①パッキンの平らな形状部(A)の厚みがある部分をふたの凹部(B)にしっかりとはめ込んでください。
- ②パッキンの全周をしっかりとはめ込んでください。



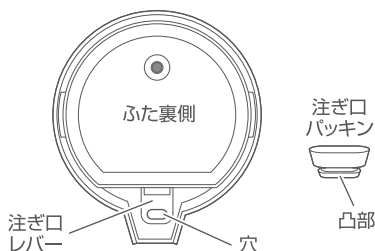
【注ぎ口パッキン】

外し方

注ぎ口レバーをしっかりと押さえ、パッキンをめくり外してください。

付け方

注ぎ口レバーの穴にパッキンの凸部を押し込んでしっかりとめ込んでください。



故障かな？と思ったら...

「故障かな？」と思ったときは、次の内容をお調べください。

状 態	点 検	処 理
お湯が沸かない 電源ランプが点灯しない	電源プラグは正しく接続されていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを確認し、定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。
すぐに電源が切れる	空だきしていませんか？	水を入れてご使用ください。
	水の量が少なくありませんか？	最低300mlの水を入れてご使用ください。
ハンドルから水滴が垂れる	本体が倒れませんでしたか？	蒸気通路からハンドルに水が流れ込むと水滴が垂れることがあります。故障ではありません。
お湯がふきこぼれる	[MAX]目盛以上に水を入れていませんか？	正しい量の水を入れてご使用ください。
	水以外(牛乳・お酒・ジュースなど)を加熱していませんか？	水以外は加熱しないでください。
沸騰しても自動で停止しない	ふたが外れていませんか？ 給湯ロックスイッチはロックされていますか？	ふたを正しく取り付けて 給湯ロックスイッチをロックしてください。
使用中にキシミ音がする	熱による金属部品などの膨張・収縮によるものです。	故障ではありません。
お湯に白いものが浮く	本来水に含まれるミネラル成分の作用によるものです。	クエン酸洗浄をしてください。 (7ページ参照)

- 修理を依頼される際は、上記内容をご確認していただいてからご連絡ください。
- 上記内容を確認したうえで直らない、またはそれ以外の不具合がおこった場合は、弊社アフターサービス(10ページ参照)までご連絡ください。
- 安全に長くご愛用していただくために、日頃から点検をおこなってください。

製品仕様

品 番	AKE-377	外 形 寸 法	(約)W226×D144×H202(mm)
品 名	電気ケトル	質 量	(約)875g
定格電圧/周波数	AC100V 50/60Hz共用	電 源 コ ー ド	(約)75cm
消 費 電 力	900W	材 質	本体：ポリプロピレン、ポリアセタール ポリカーボネート 電源ベース：ポリプロピレン
温 度 ヒ ュ ー ズ	184°C		
定 格 容 量	最大1.0Lまで		

- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となりますので、ご了承ください。
- 仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービス

アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

1.修理を依頼される時

- * 保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参、または弊社に連絡ください。保証書の記載内容により無料修理致します。
- * 保証期間が過ぎている時は、弊社に連絡の上、ご相談ください。
- * 保証書に所定の記入や販売店の印章がなき場合、又は語句を書き替えられた場合は、無料修理を保証することはできませんのでご注意ください。

2.補修用性能部品の保有期間

- * この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3.保証書について

- * 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- * 保証期間はお買い上げから1年間です。

点検・修理・ご相談・お問い合わせ先

ご連絡していただきたい内容

- 品名
- 品番
- お買い上げ日
- 故障の状況
(できるだけ具体的に)



2次元コード



- ①2次元コードを読み取り
- ②サイトへアクセス
- ③品番で検索

※品番は表紙、保証書に記載あります。

修理に関するお問い合わせ

0120-350352

部品購入に関する
お問い合わせ

0587-22-5353

インターネット販売

www.apix-direct.jp

営業時間：(平日)月曜日～金曜日 ※祝祭日を除く ※混雑時には繋がりにくい場合があります。
午前10:00～11:30 午後1:00～5:00 繋がらない場合は下記番号におかけください。
予備回線:TEL.0587-38-5320

ご使用の回線(IP電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

廃棄について

廃棄処分をされる場合は、お住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないでください。